



## 2015 チャイルドライン秋の東京キャンペーン企画書

2015年6月

チャイルドライン東京ネットワーク

### 実施内容

- ・東京都内のチャイルドライン実施 13 団体が協働し、東京都内の子どもにチャイルドラインのカード配布などの広報を進め、この電話への認知を拡大する。
- ・子どもをとりまく大人に対してチャイルドライン活動や子どもたちの困難な状況を知ってもらい、市民ひとりひとりが社会貢献活動に参画し、自分に出来ることを実行していくことを促進するための広報活動を行う。
- ・東京都内発信の電話の優先受信を実施する。フリーダイヤルは毎日 4 時～9 時まで全国から無料で掛けられる電話で、掛かった電話は、距離が近く空いている回線から順に全国のチャイルドラインに着信する。都内のチャイルドラインでは、ふだんは全国からの電話を受けているが、この期間中は都内発信の電話のみに限定して受けるよう設定し、都内の子ども達の声を集中的に聴き、受け止めるものである。

【対象年齢】 東京都内の 18 歳までの子ども（主に小中学生 78 万人）、広く一般のおとな（広報）

【広 報】 カード・ポスターの配布、インターネットによる周知、口コミ など

【広報強化期間】 2015 年 9 月 1 日（火）～10 月 4 日（日）

【東京都内集中実施期間】 2015 年 9 月 7 日（月）～10 月 4 日（日）

### 企画意図

18 歳までの子ども専用の電話「チャイルドライン®」は、日本では 1998 年に初めて活動が始まり、現在は 42 都道府県で実施されています。2009 年 5 月より全国どこからでもフリーダイヤルでかけられる体制を本格的に開始し、2014 年度には全国で約 20 万件の電話を受けています。

いじめられている、自分は生きている価値がないなど、チャイルドラインには子ども達からのつらい声が寄せられ、学校や家庭で追い詰められている状況が浮かびます。匿名の電話で気持ちを言葉に出し、受け止められることで、少し楽になって力を回復し、新たな一歩に向かう効果があります。

一方で、フリーダイヤル通話料や、子どもにチャイルドラインを知ってもらうために配るカードの作成費用など、活動の広まりに伴い多くの運営資金が必要となっています。活動に従事するボランティアスタッフも常に不足しており、より一層、この活動の社会への浸透を図る必要があります。

今回の秋のキャンペーンでは、都内の子どもへのチャイルドライン周知のために、カード作成・配布などの広報活動を行い、また、併せて社会へもチャイルドラインの活動を知らせ、活動への支援を求めるため、様々な手段を用いて社会的な広報を行います。

また、この期間は都内発信の電話を都内団体で集中的に受信し、都内の子ども達の電話をつながりやすくするとともに、都内の子どもたちの状況を把握する機会といたします。

### 東京キャンペーンの実施体制

【主 催】 チャイルドライン東京ネットワーク（任意団体）

【参加・共催団体】 東京都内のチャイルドライン実施運営団体

せたがやチャイルドライン（社会福祉法人世田谷ボランティア協会）

めぐろチャイルドライン（特定非営利活動法人めぐろチャイルドライン）

八王子チャイルドライン「コッコロ」（特定非営利活動法人八王子チャイルドライン）

東京シューレチャイルドライン（特定非営利活動法人東京シューレ）

チャイルドライン中野子ども電話（特定非営利活動法人中野ふくし倶楽部）

チャイルドラインむさしの（特定非営利活動法人チャイルドラインむさしの）

しながわチャイルドライン（特定非営利活動法人しながわチャイルドライン）

こどもネット八王子 こどもでんわ★21（特定非営利活動法人子どもネット八王子）

チャイルドラインたちかわ（チャイルドラインたちかわ）

とうきょうかわのてチャイルドライン（特定非営利活動法人こうとう親子センター）

こまえチャイルドライン（こまえチャイルドライン）

みなとチャイルドライン・子ども電話（みなとチャイルドライン）

チャイルドラインすぎなみ（チャイルドラインすぎなみ）



- 【後援】 東京都、江戸川区、江東区教育委員会他参加団体の地域後援（予定を含む）
- 【協力】 特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター（認定 NPO 法人）
- 【電話】 0120-99-7777 年末年始を除く毎日実施 16時～21時  
全国から無料で掛けられ、全国 42 都道府県 72 チャイルドラインに着信  
チャイルドライン支援センターが、内閣府、文部科学省、厚生労働省他の名義後援、  
協賛を得て運営管理している。  
今回のキャンペーンは、このフリーダイヤルと参加団体固有の電話について実施する  
もの。